



城北中学校区小・中学校合同のフシバカマの植栽 (旧青井小)



放課後の居場所づくり「とんぼクラブ」のロボット研究室 (中筋小)



ふじばかまつり (旧青井小)



親子でクッキング (中筋小)



まちの先生の生け花クラブ (中筋小)



青葉中学校区の一斉あいさつ運動

第7次舞鶴市総合計画に基づき、まちづくりの方向性や市の取り組み施策・事業をお伝えする「市政の今」。今回は、地域住民などの参画による「学校を核とした地域づくり」の取り組みについてお伝えします。

人口減少や少子高齢化が急速に進展する中、将来を担う子ども達への教育や文化・スポーツの振興など、教育の果たすべき役割はこれまで以上に重要です。市では「ふるさと舞鶴を愛し、夢に向かって将来を切り拓く子ども」を育てたい子ども像として、小中一貫教育の推進や本市の豊かな自然環境の中で、特色ある歴史、文化などの地域資源を生かした教育の推進を地域社会全体で取り組む「確かな学力」や「豊かな心」、「健やかな体」、そして人と人が助け合い心が通い合う、お互いさまの心を育むなどバランスの取れた人材の育成を目指しています。

◆地域で支える学校教育

都市化や核家族化が進行する中、子どもの教育の原点である地域や家庭の教育力の向上が必要となります。そこで、地域と学校が連携し、地域全体で学校を支える取り組みを

進めています。

学校・家庭・地域社会で子ども達の「生きる力」を育み、健やかな成長を促すため平成13年に設立された「学校支援ネットワーク『なかつじ』」では、スポーツ教室や文化教室など、身近な学校施設を活用して学習・体験活動を行い、子ども達の放課後や休日の居場所づくりを進めています。また、保護者が中心となってスポーツ教室団体を組織したり、公募で集まった「まちの先生」が教員と一緒に子ども達を指導したりしています。この他にも、見守り隊やPTA、地域ボランティアが登下校の見守りを行うなど、地域の多くの人々が学校教育に関わることで、子ども達にとってもコミュニケーション能力を身に付けたり、多様な学びを体験したりすることに繋がっています。

子どもと地域のつながりを深め、ふるさとを愛する心を育むことを目的に平成24年に発足した「青葉中学

校地域支援協議会」では「できるときにできることを」を合言葉に、年間を通して、週2回のあいさつ運動をはじめ、学校行事への参加、環境整備や生徒への講話など、さまざまな教育支援活動を行うほか、学校と一緒に地域行事でのボランティア活動や河川の清掃活動などにも取り組んでいます。

子ども達と地域の皆さんの思いを活動に取り入れ、地域の皆さんに常に見守られ、支援してもらっていることを子ども達が実感することで、「自分たちも地域のためにもっと貢献したい」という意欲やふるさとへの愛着心、将来にわたり地域に根差した活動を大切にしようとする心を育むことにもつながっています。

「城北中学校区地域支援協議会」では、校区一斉あいさつ運動や見守り活動、学校の環境整備のほか、生け花や囲碁、おせちなどの伝統料理の教室を開いています。中でも、城北中学校生徒会が行う「夢プロジェクト」の一環であるフシバカマを植栽し、旅する蝶・アサギマダラを飛来させる取り組みは、苗づくりや小・中学校合同での植栽、贈呈式、手入れ、観察会、匂い袋の作成などの活動を、校区の4小学校も巻き込んで行う特色ある取り組みとなっています。

◆子どもの成長から地域の創生へ
学校、家庭、地域が一体となり地域ぐるみで子ども達の学びや成長を支え「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域と学校がパートナーとして連携・協働を行っています。

子ども達の成長を軸として、地域と学校が意見を出し合う中で、地域の将来を担う人材の育成と、地域の皆さんが相互のつながりを深め、地域の創生にもつながっていくことが期待されています。

今後も、地域全体で未来を担う子ども達の成長を支えていけるよう、市民の皆さんと共に取り組みを進めていきます。

施策に関するご意見を

今号の施策に関するご意見やご感想をお寄せください。

皆さんと一緒にまちづくりを進めていきます。

▶詳しくは、学校教育課 (☎66・1031)へ。

